

皆野長瀬ロータリークラブ

週報

◇例会日 第1・第3木曜日 12:30~13:30 第2・第4木曜日 18:30~19:30
 ◇例会場 長瀬レクリエーションホテル 養浩亭
 ◇事務所 〒369-1305 秩父郡長瀬町長瀬1446 養浩亭内
 Tel:0494-66-4134 / Fax:0494-66-4134
 e-mail:minanaga@chichibu.ne.jp
 ◇点 鐘 山田 利明会長
 ◇ソング 君が代・奉仕の理想



世界への
プレゼントになろう

Be a gift to the world

第1331回例会 平成27年9月3 (木)

会長の時間

山田 利明

皆さん、こんにちは。9月18日に開催される会長・幹事会でIM協議会で発表する内容についてのビデオ撮りがあります。3分以内で発表しますので、川の写真を撮ったりして写真を集めています。



今年は自分も勉強しながら皆さんにもいい話をしようかなと思って、本を参考にしています。今日はトルストイの言葉に「謙虚な人は誰からも好かれる。それなのにどうして謙虚な人になろうとしないのか」という言葉があります。謙虚とは素直と言いますか、賢さを備えて自分の限界を自覚しているのが謙虚な人なのだそうですが、ついつい威張ったり、自惚れたりする人が多く、人に意見された時に素直に聞けないというのが人らしいのですが。その通りだなと。人の言った事は素直に聞いて、真面目に毎日やらないとダメなんだなと、この年になって思っているのですが。忠告をされると、普通年を取ってくると「何言ってんだよ」とかどうでもなくなってしまいます。素直に謙虚に聞ければ、またそれから成長するそうです。年を取ってくると自分勝手になる人が多くなるようです。私も反省して、人の言った事は謙虚に聞いてこれからは素直になって人の喜びを喜べればいいのですが。たとえば誰かが旅行に行っている時にいい日であったら、天気が良くておもしろくないなと思ったりするのが良くないらしいので、良い日で良かったなと素直に思える人間になれば、誰からも好かれる人間になれると思います。「忠告は雪に似て、静かに降れば降るほどに心に長くかかり心に食い込んでいく事も深くなる」忠告をされたら、じっと受け止めて、そうかもしれないと思えるようになったら、これからもっと発展出来ると思います。トルストイと哲学者のヒルティの言葉です。日本でも通じると思いますので、この言葉を今週は胸に抱いて行動したいと思います。私もいい人間になろうとしていますので、よろしくお願い致します。

幹事報告

宮前 英雄

1. 地区事務所より
 - ① 2018-19年度ガバナー推薦の指名委員会委員について
 - ② 職業奉仕部門分科会出席に対するお礼
 - ③ コーディネーターニュース
2. 秩父RCよりIMビデオ収録順序について
3. 行田さくらRCよりチャリティーゴルフコンペの案内
4. ロータリーの友事務所よりロータリーの友英語版の案内
5. 秩父手をつなぐ育成会より天満敦子チャリティーコンサートの案内
6. 皆野町商工会より健康づくりゴルフ大会協賛のお願い



委員会報告

1. クラブ管理運営委員会 畝 徳治会員



当クラブのホームページについてですが、内容について会長と私に任せて欲しいとお話しましたが、やはり会員の紹介についてはどこまで出すかという事について皆さんの意見をお伺いしたいと思います。基本的には、個人の生年月日、住所等は出さない方がいいという事で、最低限入会日時と職業分類と勤務先を出したいと思っています。穂果には趣味特技という欄を設けたいと思っています。出たくない方は出さなくても結構です。企業紹介については、こういう仕事をしてますという事で、勤務先をクリックすると会社情報が表示される枠を作り、更に勤務先の業務の内容を紹介する欄を作りたいと思います。その勤務先の紹介を皆さんに書いて頂きたいと思っています。会社の紹介に関しては、会社のホームページにリンクして欲しい方はその旨、書き入れてください。



2. 職業奉仕委員会

小林 一夫会員

8月29日に職業奉仕部門セミナーに出席して参りました。分科会において職業奉仕副委員長の内山さんから職業奉仕理念についてのお話がありました。

内容としては、「ロータリーの目的は意義ある事業の基礎として奉仕の理念(理想)を奨励し、これを育む事にあり、奉仕の第2部門である職業奉仕は、事業および専門職務の道徳的水準を高め、品位ある業務はすべて尊重されるべきであるという認識を深め、あらゆる職業に携わる中で奉仕の理念を実践していくという目的を持つものである。会員の役割には、ロータリーの理念に従って自分自身を律し、事業を行う事が含まれる」という事で、今まで職業奉仕と言うと、答えがなかなか見つからなかったのですが、職業奉仕とは奉仕の理念(理想)に従って自らの職業を実践する事のようなのです。ロータリーの誕生、シカゴクラブの定款、ロータリーのモットーであるシェルダンの「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」の話やアーサー・フレデリック・シェルダンの「ロータリー哲学」に書かれているロータリーの奉仕理念についてやチェスレー・ペリーによる「奉仕の理想とは他人の事を思いやり、他人のために役立つとする事である」という奉仕の定義についての話もありました。また4つのテストについて、ハーバート・テラーが1930年に倒産寸前の会社再建を任せられ4つのテストを使って見事に会社を建て直し、1946年に4つのテストの著作権がRIに委譲されたそうです。職業奉仕について田中毅PGは「現在主流の社会奉仕活動は、本来の職業奉仕に付け加えられるべきものである」と話されているそうです。クラブの職業奉仕については、1987年RI理事会職業奉仕の新方針の中で「職業の中に奉仕の理想を生かす事をロータリーが育成、支援する方法」「職業奉仕は会員個人とクラブ双方の責任である」と掲載されているそうです。活動事例としては、職業情報、職業活動の表彰、就職相談、職業指導、ロータリー・ボランティア、ロータリー趣味、職業別懇親活動などが挙げられています。その後私の職業という内容で発表がありました。



3. 国際奉仕委員会

新井 通雄会員

国際奉仕部門・支援委員会セミナーに出席して参りました。本年度の当地区の国際奉仕部門の方針としては、各クラブから寄せられた支援金を効率的に支援を待っている人達に届けられるかという事に知恵を絞っているそうです。国内外の各種団体を通じての支援金の提供では、現地へ届く浄財が極端に少額になってしまうという実態が判明してきたので、今年度の委員会はオープンでガラス越しで相手の見える支援の方法を極力取る事に努力して、実行していくという事です。支援金は世界寺子屋運動、環境保全運動の2つに使うそうです。寺子屋運動では



ネパールへさいたまユネスコを通じて学校建設、教材支援、ミャンマーへ教材支援、フィリピンにバギオノースRCを通じて教材支援を行い、環境保全運動では、タイのタイ・シーロムRCを通じて「学校へ飲料水の濾過装置設置の支援、インドへの支援での新事業の検討案件として、人口の90%の人がトイレのない生活を送っているという現実を踏まえて委員会で討議を重ねているという事です。

新興国、後進国、貧困国共通の問題点として、各国とも首都や大きな町は比較的設備も良く、生活環境や教育環境が整っていますが、町を離れると社会環境が一変し、地方生活者は低所得者が多く、病気になっても医者にかかれない人がたくさんいます。ミャンマーの寺子屋では、無料診療所を週2回開設している所も見受けられ、お医者さんもボランティアで支援してくれています。世界中から支援の手がさしのべられていますが、まだまだ継続的な支援が必要の様です。国の教育予算が不足しているのが最大の問題点となっています。世界の恵まれない子供達のために、この支援活動を通じて多くの子供達に教育の機会を与えてあげる活動に協力が必要との事でした。会員1人あたり2,000円の支援をお願いしたいという事でした。



四つのテスト

新井 剛太郎会員



今回20日ばかり循環器へ入院致しましたが、その時に呼吸器系統の病気を持った人は、心臓や他の関係の病気よりも倍も多いんです。呼吸器の病気が人が増える傾向にあると。空気清浄機とかが必要

になってくるのかなと。そこで山田先生の方に呼吸器の病気に対応するような設計をお願いしました。私の入院した所は昔の病棟でしたが、よく出来ていました。そういうような物を参考にして頂いて、小規模の特養を作るのですが、呼吸の病気をガードするような形を取りたいと思っております。入院しましたが、学ぶ事もありました。

出席率

免除以外の会員	出席免除会員	出席	メイク	出席率
12	0	8	1	75.0%